

# 第 66 回 河川レンジャー制度運営委員会 議事要旨

開催日：令和 4 年 6 月 8 日（水）14:00～15:50

実施場所：オンライン

出席者：制度運営委員会委員：中谷、北井、辻、矢野（欠席 平山）

琵琶湖河川レンジャー：根木山、水上、福西

事務局：琵琶湖河川事務所；荻田、松田、堀

流域連携支援室；中西、松岡、井上、寺井、小野

（敬称略）

## 1. 議事

- （1）委員長・副委員長の選出
  - 報告
    - （2）第 65 回委員会以降の動きについて
  - 審議
    - （3）2022 年度 琵琶湖河川レンジャー年間活動計画（案）の承認について
  - その他
    - （4）2022 年度の年間スケジュール

## 2. 結果 [凡例：○ 委員、□ 河川レンジャー、△ 事務局]

### （1）委員長・副委員長の選出

琵琶湖河川レンジャー制度運営委員会規約第 7 条 2 項の規定に基づき、出席委員の互選により今年度の委員長、副委員長が選出された。

役職	選出	区分
委員長	中谷 委員	学識経験者
副委員長	北井 委員	住民

### （2）報告

事務局より「第 65 回河川レンジャー制度運営委員会以降の動きについて」の報告を行った。

- 5 月 21 日の水上河川レンジャーの活動に参加された河川レンジャートライアル（山崎氏）の参加記録を委員にも共有してほしい。
- 「琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所の意見交換会」の報告について、今後は要点を簡潔にまとめ、本委員会の場で共有してほしい。

### （3）審議

#### ■2022 年度 河川レンジャー活動計画（案）の承認について

河川レンジャー 3 名の年間活動計画（案）が提案され、承認された。各河川レンジャーの活動計画に対する委員の意見・助言を次頁に示す。

## 【根木山 河川レンジャーの活動計画について】

- 今後の根木山河川レンジャー活動への期待として、これまで活動でつながった住民・団体同士をつなぐ取り組みを進めてはどうか。新たに河川レンジャーとして活動しようという人材発掘にもつながるかもと思う。
  - ⇒□先日の事務所との意見交換会で、瀬・淵の再生事業の情報提供を頂き、それにレンジャー活動でつながった野洲川上流部の小学校を琵琶湖河川事務所に対して“将来的につながることが可能である”と説明した。
- 子ども園から高校まで、学校園と連携して、川に関する学習の機会がつくれて良いと思う。その時に参加された人が、「E ボート体験」から「伐採活動」へといった、繋がりをもちた参加の仕掛けなどはされているか。
  - ⇒□昨年度は、5月に子ども園の先生向けの研修会、6～7月に子ども園の保護者・子どもを対象とした水辺遊び体験を実施した。また、7月には住民グループによる野洲川中洲親水公園において川遊びのオープン活動があり、その参加の呼びかけを小学校や子ども園に行った。昨年度は、多くの方に参加頂き、子ども園の家族も参加されており、そこから住民グループのメンバーに入って頂けるような流れが今後できればと思う。
  - ⇒□子ども園を対象に活動を仕掛ける際は、河川レンジャーとしての支援を継続的に行えるか分からないため、保護者にも協力を呼びかけてもらっている。その結果として、昨年度は3人の保護者の参加だった。今年度予定の2回には、9名と7名の保護者の参加が見られ、川への興味を持って頂いていると思う。
- 守山北高校と活動されているなかで、高校生から将来の河川の仕事への興味や地域活動に関わるようなコメントや印象をお持ちであれば教えてほしい。
  - ⇒□昨年度は、初年度ということで3年生が対象で開催時期がコロナで遅れ、アフターフォローする間もなく卒業された。今年度は、全クラスの1年生を対象に活動予定であり、アフターフォローとして上述のコメント（高校生から「将来は河川の仕事に関わりたい」といった声など）のような視点を踏まえて関わられたらと思う。
- 守山市中洲地区の自治会長にヒアリングされて、河川レンジャーに期待する声を何か感じているか。
  - ⇒□数年前に自治会長5名にヒアリングを実施し、「野洲川を浚渫してほしい」「野洲川の地域活性化してほしい」などの意見があった。“野洲川を地域活性化してほしい”という意見の自治会長については、河川レンジャー活動を見て頂いているため、適宜、進捗状況（開催結果、今後の予定など）を報告している。
- 琵琶湖河川事務所としては、河川レンジャーの広報の手段・方法を模索しており、河川レンジャーの知名度向上につなげたいと思っている。広報として、参加者から意見等があれば活動を通して琵琶湖河川事務所もしくは支援室までお寄せ頂きたい。

## 【水上 河川レンジャーの活動計画について】

- 幼木伐採の活動について、参加者から「何で伐採するの？」といったような素朴な疑問はないのか。
  - ⇒□本活動の実施にあたっては、事前勉強会として幼木伐採の必要性や治水における効果

を説明している。その結果として、活動当日はスムーズに実施できたと思う。

- 野洲川河川清掃の活動予定について、参加者の募集方法はどのようにされるのか。従来の参加者のみ、もしくは参加者の幅を広げられるのか。
  - ⇒□参加者の幅を広げたいと考えており、現在案内チラシを作成している。そのチラシは、近隣の市民センター、自治会などに配布予定である。
- 立命館守山中学校はサイエンスが好きな生徒が多い印象であるが、今年度において特に話題性のある取り組みがあれば教えてください。
  - ⇒□今回実施した炭づくりはサイエンス的なところがあり、顧問の先生が非常に興味を持っておられ、作製した炭をどのように活用するかという視点で参加された生徒に持ち帰ってもらった。
- 野洲川河川清掃（秋季）の開催にあたって、時期が台風期に該当するが、例えば副次的に治水への理解を図る内容が含まれているのか。
  - ⇒□企業と連携した幼木伐採を通して治水への理解を図る予定である。また、有効活用の方法（木工細工など）についても検討中である。
- 幼木伐採活動における伐採木の有効活用の一例として、連携している企業のホームセンターで加工・利用に繋げるとの話があったが、将来的に商業的な利用価値の検討（伐採木を加工して販売など）までされているのか。
  - ⇒□昨年度にホームセンターと打合せをした結果、ホームセンターの品質確保の観点からみると難しいという見解であったため、今のところ商業的な利用はできない。
  - ⇒○品質を確保することは大事だと思うが、一方で、SDGs の取り組みを持続的に行うことは良い発想なので、今後、発展すれば良いと思う。
- 河川レンジャートライアルの方に活動（幼木伐採・簡易炭づくり・河口部魚類調査）をサポート頂き、「河川レンジャーって面白いな」という感想を頂けた。河川レンジャーの現場を体験的に知ることは非常に良いことだと思う。

#### 【福西 河川レンジャーの活動計画について】

- 河川レンジャー活動において地道に地域の声を集めていることは良いと思う。今年度も継続的に取り組んで頂ければと期待している。
- マザーレイクゴールズ（事務局：滋賀県琵琶湖環境部）では、地域から“ゴミ拾いをしたい”という問合せがあり、例えば福西河川レンジャーの活動で河川清掃のノウハウを教える講習会を企画できると思う。
- 同事務局では、琵琶湖ルールキッズイベントと題して「外来魚釣り大会（R4.7.9）」を開催予定である。本イベントでは、副賞や表彰式もある。例えば、福西河川レンジャーの活動で周知していただくと参加者の幅も広がると思う。
- 応急手当の講習会の企画について、研修や資格証をもらえるような活動はすごくいいと思う。企画の動機や、応急手当普及員さんとの連携などについて詳しく考えや経緯があれば教えて欲しい。

⇒□近年の全国的な水難事故多発が見られており、私自身の職業：看護師の視点も踏まえて、仕事を通して知り得た「応急手当普及員の資格」を河川の利用者に普及すべきと考えて、河川レンジャー活動として企画したものである。今後は、心臓マッサージなど看護師としての意見も加えて勉強会の内容を濃くしていきたい。

⇒○これまでの河川レンジャー活動では、医療系の取り組みはなされていなかった。河川レンジャー活動の幅を広げる機会になると思う。琵琶湖河川事務所としても、医療系とつながっていることを周知しても面白いと思う。

#### 【全体】

- 琵琶湖河川事務所としては、河川レンジャーの皆様には幅広く、注意深く、いろいろな活動に取り組んでいただきたい。したいことがあれば、河川事務所は幅広に受け止めたいと思っているので、支援室なり事務所に申し出て欲しい。
- 防犯上の問題等々については、警察等とも連絡・調整しているので、安心して活動していただきたい。
- 河川の問い合わせの情報については、関係者が情報共有することで対応していきたい。時間を要するようなものは、河川レンジャーにも協力していただくことも考えたい。
- 各委員からのコメントを受けて、河川レンジャー活動にうまく活かして進めて頂ければと思う。
- 河川レンジャー活動に対して、地域が受け入れやすいようになることが大事かと思う。その結果として、地域の人が川を身近に感じ、大事に考える機会になると思う。

#### (4) その他

##### ■2022年度の年間スケジュールについて

河川レンジャー制度運営委員会の年間開催計画、河川レンジャー勉強会、河川レンジャーミーティング、河川レンジャーレポート発行の予定等について説明した。

- 河川レンジャーレポートの配布について、河川レンジャーが活躍されている場所（その周辺を含む）や自治会組織などに対して効果的に広報する工夫をして頂ければと思う。

以上